



第 19 回武蔵野はらっぱ祭りを終えて

2007年11月4日（日）に開催した「第19回武蔵野はらっぱ祭り」は、無事に終わることができました。

私たちスタッフは、祭りの当日はもちろん、準備や片付けの日にも、実に多くの方々から温かい励ましや祭りの開催を喜ぶ声をいただき、参加者の皆様と一緒に楽しむことができたと感じております。

今回の祭りでも、参加者が車で来場できない点をご理解いただき、前回同様に違法駐車はほとんどありませんでした。また、参加者の多くがゴミの持ち帰りに協力してくれたため、翌日の片付けの際もゴミが大変少なく、その多くをリサイクルにまわすことができました。とくに今回は駐輪場を拡充したため、会場内の通行もスムーズだったと思います。

今回は、ゴミの減量化を進めるために、本部での豚汁販売の際に容器をお持ちの方には100円引きで販売しました（割りばしは、漂白剤や防カビ剤を使用していない北海道の間伐材を使用しました）が、よりいっそう、はし、容器（カップ、食器）持参の方が増えるように、呼びかけていきたいと考えています。

祭りの後も皆様から寄せられた今回の祭りへの率直なご意見やご感想を踏まえ、反省会を行いました。本年も地域の皆様にもご協力をいただきまして、はらっぱ祭りを開催していきたいと考えておりますので、ぜひご意見をお寄せください。祭りスタッフも引き続き募集しています。お気軽にミーティングにご参加ください。

最後になりましたが、はらっぱ祭りを温かく見守ってくださった地域の方々、ご支援いただいた皆様方に、この場をお借りして改めて厚く御礼申し上げます。

ありがとうございました。

はらっぱ祭り出店／出展者からのコメント

結婚式が最初にあったのがよかった。新郎新婦を知らなくても、お祭りにメデタイことが重なるとみんなハッピーな気分になります。初参加でしたがとても楽しかったです。

(「大地とつながる母の会」柳美穂)

「おわん&はし」を100円で貸しました。返してくれる時に100円お返ししました。非常にめんどくさかったですが、確実に戻ってきました。食器も途中で何度も洗いにいき、やっぱりめんどくさかった。あとスマイルカップを200円で販売したらすぐ完売でした。途中、紙コップを買いに行きました。My食器は全然浸透していないと思いました。近所のたまたま訪れる人が多い場所なので、いい方法を考えましょう。

(「ヌートリアンカフェ」三木ひさり)

せっかく小金井市で開催するので、小金井市の職員に出店・展示で参加してもらうように働きかけてみてはいかがでしょうか。市のピーアール・催しの案内などや、「ごみ問題」への啓発等の活動をその折りにおこなってもらい、彼らを祭りに巻き込んでしまうということも考えられるように思います。賛否あると思いますが、ひとつの案として提案させていただきます。

(「小金井学保連」文弘樹)

以前に比べれば、出店者の数も少なく森の方は少しさびしい気もしたし、参加バンドも少ないしもっといろいろ聴きたいと思ったけど、全体的には、こじんまりと手作り風であればあれで良いんじゃないかと思えた。適正規模で良かった。出店数の上で、地域の施設・団体の比率が高くて、

あやしげな店がほとんどなく、総数の面でもちょうどいいと感じた。地元の人(近隣住民とは限らないが)が本当に楽しみにしてたんだなと感じた。ひどい酔っぱらいや羽目を外している人を見かけなかった。

(「わんぱく夏まつりの会」)

自転車置き場の制作に、夫婦でお手伝いさせていただきました。この時間が忘れられませんね。クドウさんの言われるがままに4色のビニールテープ使って作業をしていったのですが、自転車置き場の制作とはまったく無関係な話しを色々聞かせていただきました。

特に「4色分解」に関する数学のお話しや、^{ほど}解けない紐の結び方など、大変勉強になることがありました(特に紐の結び方については、ぜひワークショップを開催していただきたいほど)。

当日は、大きなスクリーンも作成していただきました。クドウさんともう一人の方(名刺交換しそびれお名前不明)にディレクションしていただき、その手際の良さに、みな感動していました。何も言わず帰っていくさまにも、また感動。カッコよさについて学ぶお祭りでもありました。

そういえば祭り中には、小学校の同級生や久しぶりの知人に遭遇することもありました。こんな風に、市内・外の出店者や実行委員の方々などと一緒につくりあげ、かつ、いろいろなお話しをできたことが、お祭りの何より楽しい思い出でございます。

(「はらっぱシアター」新宅謙吾)

この1日に色々なことがありました。全て全て、うれしいことばかりでした……。

おばあさまとお孫さんが1番最初のお客様でした。1粒50円のキャラメルを女の子が買ってくれようとして、おばあさまが、「穴のあいたお金だよ」と言って、女の子が自分のおサイフからゆっくり探してくれました。小さな手から穴のあいたお金を受け取った時、これが私の望んでいたことだと思いました。この50円を裏切らない菓子づくりをしていくことを改めて誓いました。口の中で溶けた頃、女の子はまたひと粒買いに来てくれました。こんな経験をさせて頂いて、ありがとうございました!

(「歩調」今泉直子)

はらっぱ祭り新スタッフの感想

15,6年ほど前、長野からオンボロのマイクロバスに乗って、はらっぱ祭りにやってきた一団がいました。そのなかにはぼくの娘と同じ年頃のちいさな男の子がいて、初対面のふたりは意気投合し、暗くなるまで遊びほうけていました。ぼくと連れ合いは彼の両親に、「この子をわが家に泊めてもいいか」と提案し、ほんとうに彼を連れて帰ったのでした。提案したぼくにも変ですが、初対面の人間を信頼してくれた彼らも、まことに変なひとたちでした。はらっぱ祭りではそうやって、地べたを転がりながら、新たな出会いや再会を愉しんできたのです。

祭りが中断したあと、再開にむけて努力されていたひとたちの姿を、ぼくは襖の隙間からチロチロのぞいていたような気がします。そのことがすこし息苦しくて、今年はスタッフ会議などにも顔をださせていただきました。不完全燃焼もいいところでしたが、それはまた、とても素敵な出会いとなりました。

(警備担当／西巻 元)

いやはや、とうとう「はらっぱ祭り」に参加しちゃいました。まったくドキドキ、バタバタの1年間でした! ニュースの発行も年をまたいでしまいました。すみません……。

あれやこれや、やりたがりのぼくをベテランのスタッフの方たちが温かく見守ってくれました。ふだんの仕事は完全なデスクワークと芸者稼業。まったくアクティブなところがないぶん、内心では「当日はどうなることやら」と冷や汗をかきまくってましたよ。スタッフの人たちとの出会いはとても新鮮で、会話はよい勉強となりました。小金井に住んでいながら、今まで出会うことのなかった多くの方と出会うこともできました。こうしたさまざまな出会いを今後に生かしていきたいと思うのですが、どうなることやら……!?!とまれ、今年もどうぞよろしくお願ひします。

スタッフは募集していますので、お気軽にミーティングにご参加ください!
(渉外・広報・駐車担当／ハラシマ)

はらっぱニュースVol. 4(通巻9号)

2008年1月31日発行

発行・お問合せ

武蔵野はらっぱ祭り実行委員会事務局

小金井市前原町 5-16-6 電話 042-387-7035

はらっぱ祭りホームページ= <http://the-harappa.net/>